

立川市立高松保育園建替工事 保護者・近隣説明会 開催概要

日 程：令和8年7月31日（金）、8月1日（土）

会 場：立川市立高松保育園

参加人数：1日目 16人

2日目 20人

説 明 者：立川市 子ども家庭部保育課

行政管理部施設課

設計・施工に係る各事業者

説明内容：基本設計検討段階における事業全体の概要、仮設園舎・本設園舎の設計概要

質疑要旨

<仮設園舎について>

Q 保護者が送迎用として利用できる駐車スペースはあるか。

⇒ 正式な「駐車場」として整備・管理（誘導員の配置など）するものではないが、車で送迎にきた際の一時的な乗降スペースとして、保護者自身の責任において、安全に配慮いただき利用いただくことは可能。

Q 駐輪場は何台分か。周辺は交通量が多い場所であるが、自転車送迎が重なった場合の安全な動線は確保されているか。

⇒ 現時点では5台程度を想定しているが、今後の詳細設計の中で、ご意見を踏まえたスペースや動線計画を検討していく。

Q 園庭の表層材は。

⇒ 砂を予定している。

Q 周囲の歩道にガードレールを設置することはできないか。

⇒ ガードレールの設置は道路工事の範囲となるため、今回の園舎建替工事の枠組みの中で設置することは難しい。

Q 災害時の避難場所は第五小学校となるのか。

⇒ 基本的には第五小学校を想定している。状況により第五小学校への避難が困難な場合には、より近い南部公園などを一時的な避難場所（または代替避難場所）とするなど、状況に合わせたマニュアルを今後作成していく。

<本設園舎について>

Q 駐輪場への出入り口がせまく、動線が混み合うのではないか。

⇒ 今後の詳細設計の中で、ご意見を踏まえたスペースや動線計画を検討していく。

Q 園舎周辺は、現状でも車送迎が多く、近隣道路での迷惑駐車が発生している。現在の計画では、駐車対策が不十分なのではないか。

⇒ 保護者用駐車場については、現在と同様設けない方針であるが、路上駐車に対する注意喚起や呼びかけは、あらためて継続していく。ご意見を受け止め、今後の詳細設計の中で、対応を検討していく。

Q 定員規模は。駅に近く立地条件はよいので、定員拡大すべきではないか。

⇒ 現在と同程度の定員規模で計画している。長期的な視点では少子化が進んでいくことが予測されており、公共施設新設の際は、将来的な需要を踏まえて計画することとしている。

<共通>

Q 仮設園舎および新園舎では、園児の受入れの際の動線はどうか。

⇒ いずれも、玄関から入っていただき、下駄箱で靴を脱いでから、中廊下を通って各保育室へ向かう動線を想定している。ただし、感染症拡大時などには、テラスからの受入れも可能な設計としている。

Q 工事スケジュールが前倒しとなる可能性はあるか。

⇒ スケジュールが早まることは基本的でない。台風や地震といった自然災害等により工事に遅れが生じる可能性はある。